

次号予告 2026 年 6 月号 Vol.33 No.6

[徹底分析シリーズ] 治療装置が埋め込まれている患者の麻酔

京都府立医科大学 麻酔科学教室 大屋 里奈

◆ 総論：麻酔の共通留意点

大屋 里奈

◆ 脳深部刺激治療

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科 佐々木 達也・谷本 駿・田中 將太

◆ 脊髄刺激装置

京都府立医科大学 麻酔科学教室（疼痛・緩和ケア科） 前田 知香

◆ 迷走神経刺激療法

東京大学医学部附属病院 脳神経外科 嶋田 勢二郎

◆ 舌下神経電気刺激

順天堂大学医学部 耳鼻咽喉科学講座 井下 綾子

◆ 仙骨神経刺激装置

奈良県立医科大学 泌尿器科 後藤 大輔・橘 進彰

◆ コラム：横隔神経電気刺激装置

東京西徳洲会病院 外科 高力 俊策

◆ VP シャント・LP シャント

名古屋市立大学 脳神経外科学講座/東京大学 生産技術研究所 山田 茂樹

◆ くも膜下ポート

中部徳洲会病院 疼痛治療科 前 知子・服部 政治

吹田徳洲会病院 がん疼痛治療科 徳川 茂樹

◆ バクロフェン持続髄腔内投与療法

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科 谷本 駿・佐々木 達也・田中 將太

[症例ライブラリー] 小児の気道緊急

オーガナイザー：あいち小児保健医療総合センター 麻酔科 川津 佑太

新潟大学大学院医歯学総合研究科 麻酔科学分野 山本 知裕

四国こどもとおとなの医療センター 麻酔科 田所 瑠美・多田 文彦

JCHO 九州病院 麻酔科 今井 敬子・吉野 淳

浜松医科大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科 和久田 千晴・八木原 正浩

あいち小児保健医療総合センター 麻酔科 中野 晃輔・小嶋 大樹

[快人快説]

脳波をみれば、麻酔が変わる

聖路加国際病院 麻酔科 宮坂 清之

[連載]

●ぶらり研究室探訪記

横浜市立大学医学部 生体制御・麻酔科学 金丸 栄樹

東京慈恵会医科大学 麻酔科学講座 木田 康太郎

●こどものことをもっと知ろう

小児の結核

大阪はびきの医療センター 小児科 亀田 誠

●今さら聞けない手術手技

ロボット支援下前立腺全摘除術

大阪医療センター 泌尿器科 西村 健作

●グリーン麻酔科医への道

Green Theatres Group の活動②

つくばみらい遠藤レディースクリニック
一般社団法人みどりのドクターズ 事務局メンバー 岡原 祥子

◆◆◆ our favorite ◆◆◆

非心臓植込み型の電気刺激装置が留置された患者の手術麻酔、経験はありますか？ 突然担当することになっても慌てませんか？ (H)

各論では、周術期管理にまつわる麻酔科医の疑問にもお答えいただいています。(E)

2024 年 1 月号の続編です。(E)

こんな治療もあるのを知っていましたか？ (E)

小児専門病院以外でも遭遇し得る、気道緊急を集めました。シミュレーショントレーニングについても紹介しています。(N)

意識とは……考えさせられます。(E)

予防接種である BCG ワクチンについても解説していただきました。(N)

日本は追いつけるのか?! (E)

読者アンケートから

2026 年 3 月号「ファシアの科学」のコメントから、懐疑的な見方はありつつも新たな概念への関心や期待の高さを感じられました。

◆手術ではいつも目にしているけれども、その重要性を全く知らなかった Fascia について学ぶことができる eye-opening な企画だった。

◆ファシアについてはほぼ知識がない初学者の私には、大変興味深い内容だった。いまだにこうした新しい視座が生まれる痛みの

科学の世界に大変惹きつけられた。

◆ファシアという概念やハイドロリリスなどの治療は、依然として文学的というか概念的で、一部は病態生理学的に理解できるものの、西洋医学的アプローチでの証明をしてほしいと感じた。科学的な検証や普遍的な解釈分類がないと読みづらいという、真剣に読めないというのが率直な感想である。